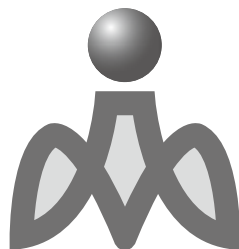


山 梨 県

商工会地区

# 中小企業景況調査報告書

〔令和3年1月～3月実績〕  
〔令和3年4月～6月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会



# 目 次

I 調 査 要 領 .....	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観 .....	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	3
(2) 主な項目で見る業況 .....	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	6
(2) 主な項目で見る業況 .....	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	9
(2) 主な項目で見る業況 .....	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	12
(2) 主な項目で見る業況 .....	12



## 【I】 調 査 要 領

### 1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

### 2. 調査対象期間

第4四半期 令和3年1月～3月期 「調査時点：令和3年3月1日」

### 3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

### 4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サ ー ビ ス 業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韮 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	53	165

### 5. そ の 他

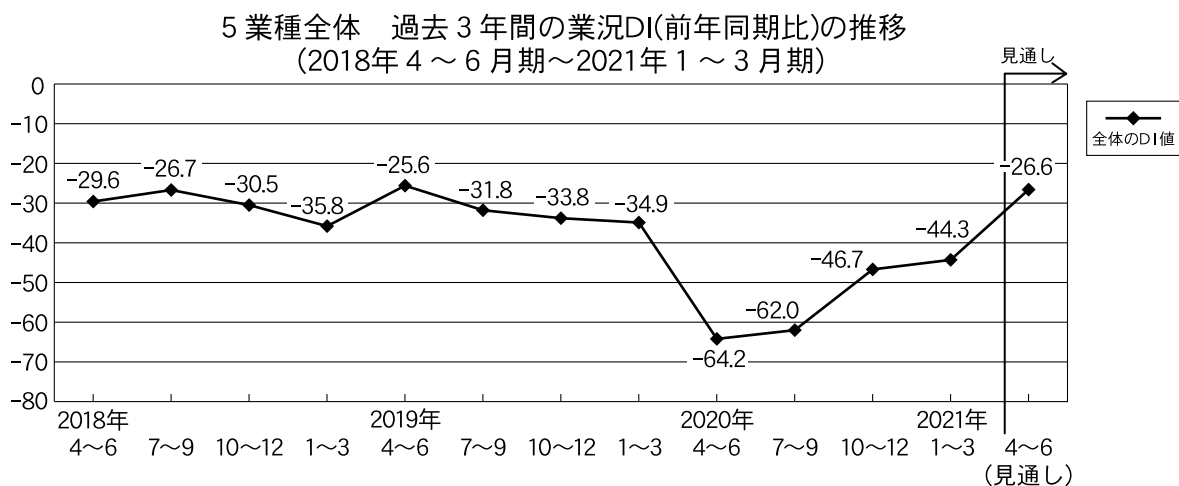
本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

## 【Ⅱ】 景 況

### 1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断D I、及び、産業別の業況判断D Iについてみる。

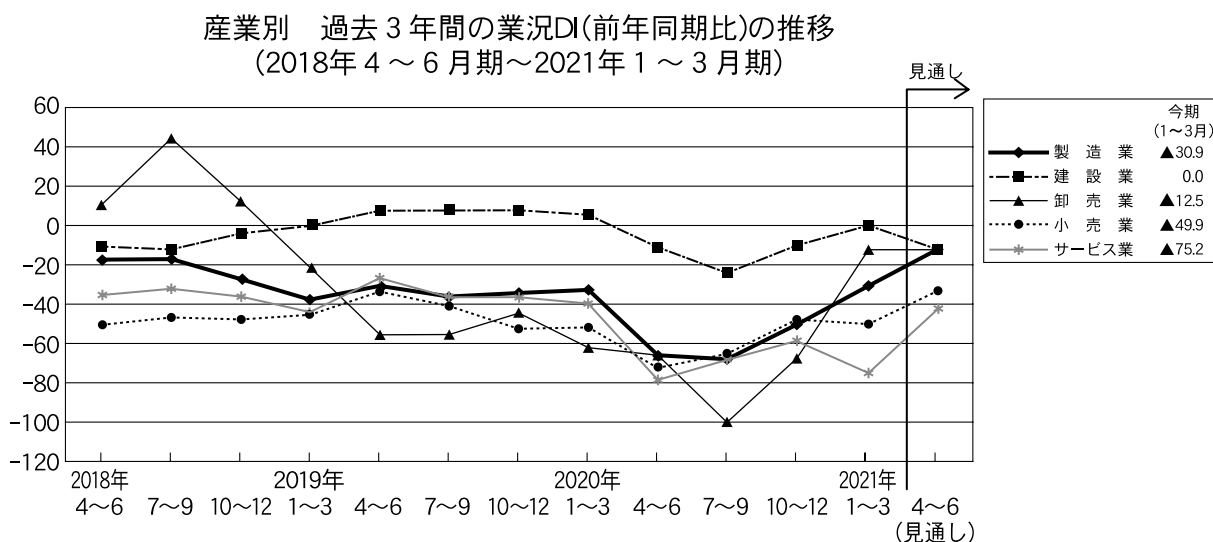
まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断D Iである。今期の業況判断D Iは、▲44.3と依然厳しい数値ではあるが、前期比+2.4ポイントの改善を示している。来期については▲26.6へと大幅に改善の見通しである。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断D Iである。

改善しているのは、製造業が▲30.9と前期比で+19.2ポイント、建設業が0.0と前期比で+10.0ポイント、卸売業が▲12.5と前期比で+54.2ポイント。一方、小売業が▲49.9と前期比で▲1.9ポイント、サービス業が▲75.2と前期比で▲16.8ポイント、悪化している。

来期は、建設業が悪化の見通しであるが、製造業、小売業、サービス業は改善、卸売業は横ばいの見通しとなっている。



**【注記】** 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に甲府・富士吉田地域等からの123企業を含めた288サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況D Iについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

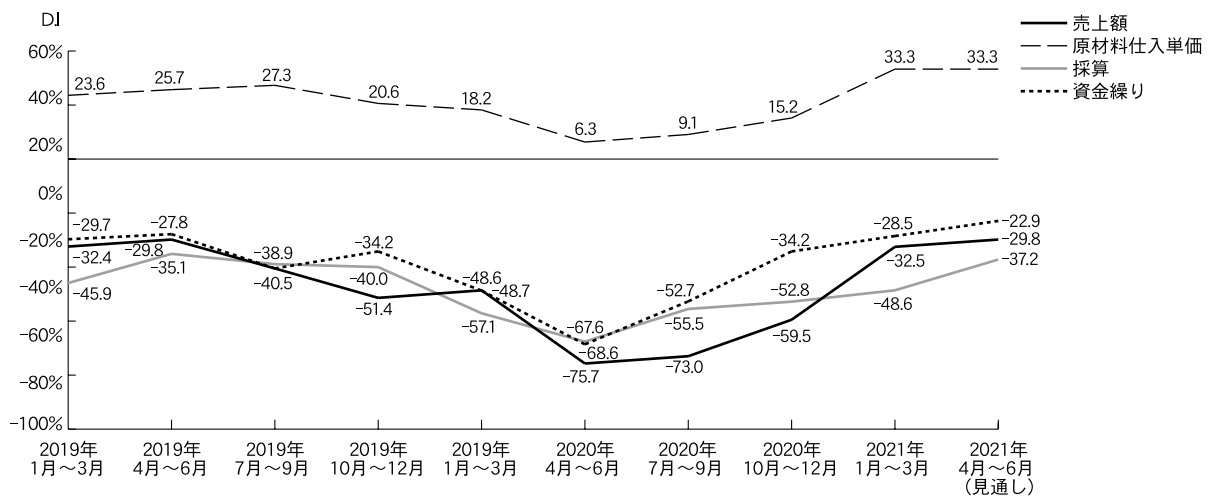
## 2. 製造業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲32.5と前期比で27.0ポイント大きく改善し、昨年4～6月期以降順調に回復してきたが、来期は▲29.8と改善の勢いは鈍化する見通しとなっている。原材料仕入単価D Iは、今期は33.3と前期比で18.1ポイント上昇（悪化）し、来期は33.3で変化なしの見通し。採算D Iは、今期は▲48.6と前期比で4.2ポイント改善し、来期も▲37.2へと改善の見通し。資金繰りD Iは、今期は▲28.5と前期比で5.7ポイント改善し、来期も▲22.9へと改善の見通しである。

今期は原材料仕入単価D Iを除いた全てのD Iが改善した。来期も横ばいの原材料仕入単価D Iを除いた全てのD Iが改善の見通しである。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



### (2) 主な項目でみる業況

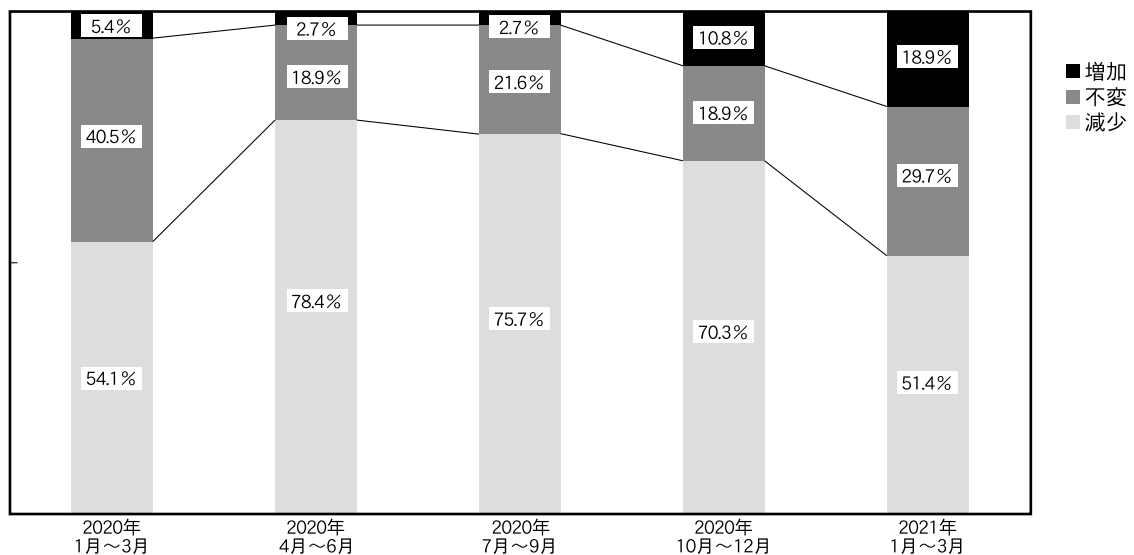
#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、18.9%（7社）と増加（前期比+3社）している。

「不変」は29.7%（11社）と増加（前期比+4社）、

「減少」は51.4%（19社）と減少（前期比▲7社）している。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D Iの内容（回答企業数35社（前回36社））

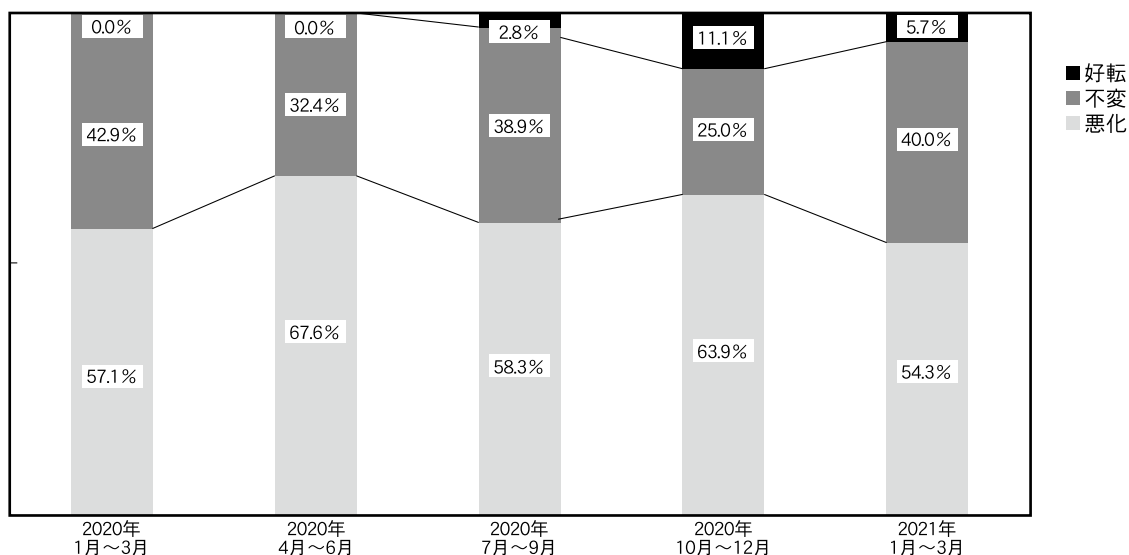
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、5.7%（2社）と減少（前期比▲2社）している。

「不変」は40.0%（14社）と増加（前期比+5社）、

「悪化」は54.3%（19社）と減少（前期比▲4社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

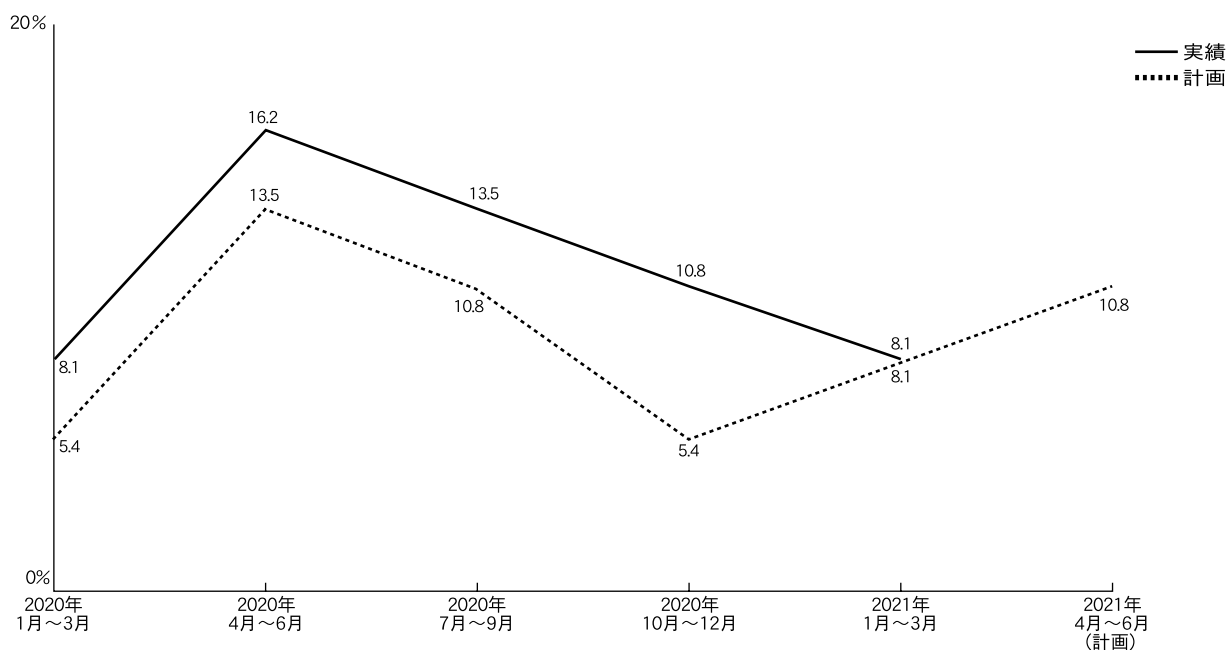


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は8.1%（3社）であった。その設備投資の内容は、「生産設備」が3件であった。

来期の計画については、10.8%（4社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「生産設備」が3件、「車両・運搬具」「その他」が1件ずつである。

山梨県 製造業 設備投資の状況





④ 経営上の問題点（回答企業数33社）

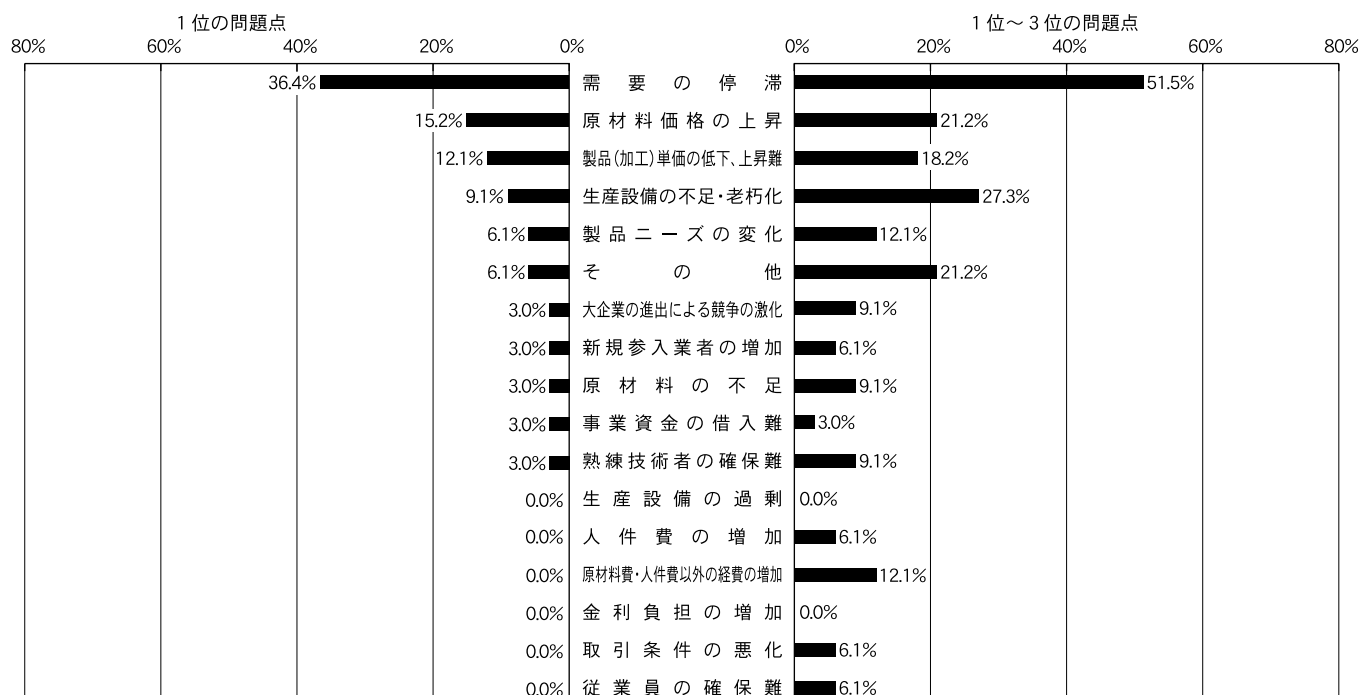
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の36.4%（12社）であり、2番目は、「原材料価格の上昇」の15.2%（5社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の51.5%（17社）であり、2番目は、「生産設備の老朽化」の27.3%（9社）である。

山梨県 製造業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	4	10.8
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
衣服・その他繊維製品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	3	8.1
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	3	8.1
金属製品製造業	2	5.4
一般機械器具製造業	14	37.9
電気機械器具製造業	4	10.8
精密機械器具製造業	1	2.7
その他製造業	4	10.8
合計	37	100.0

従業員規模別

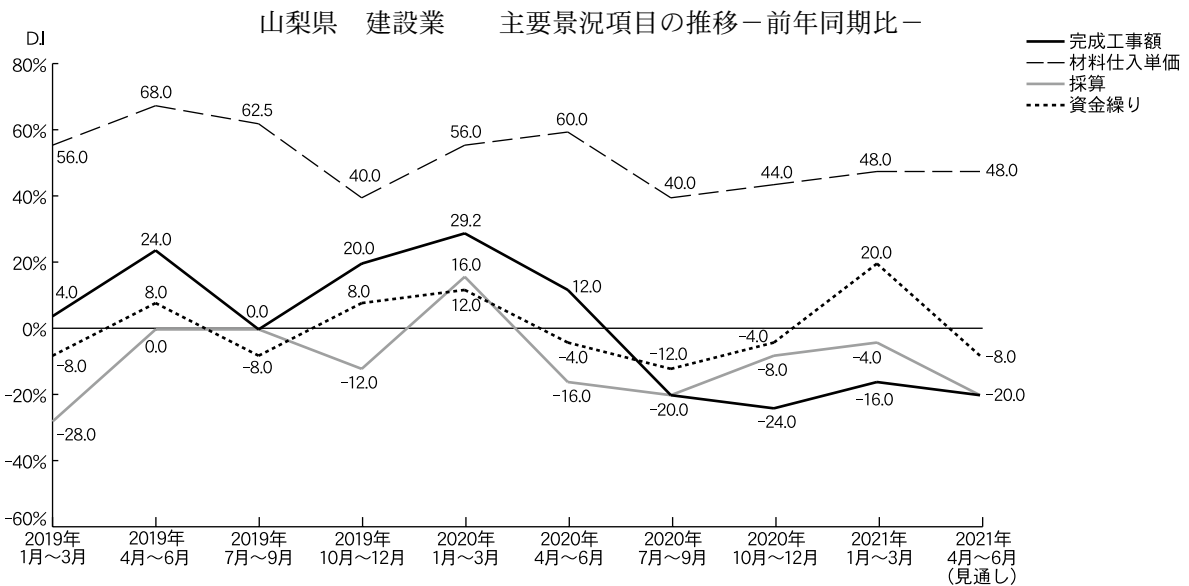
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	17	45.9	15	40.6
3人～5人以下	9	24.4	7	18.9
6人～10人以下	6	16.2	9	24.3
11人～20人以下	5	13.5	6	16.2
合計	37	100.0	37	100.0

### 3. 建設業の動向

#### (1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期は▲16.0と前期比で8.0ポイント改善したが、来期は▲20.0に悪化の見通しである。材料仕入単価D Iは、今期は48.0と前期比4.0ポイント上昇（悪化）し、来期も48.0と横ばいの見通しである。採算D Iは、今期は▲4.0と前期比4.0ポイント改善したが、来期は▲20.0と悪化の見通し。資金繰りD Iも、今期は20.0と前期比24.0ポイント大幅に改善したが、来期は▲8.0と大きく悪化の見通しである。

今期は、悪化した材料仕入単価D Iを除いた全てのD Iが改善。一方来期は、横ばいの材料仕入単価D Iを除いた全てのD Iが悪化の見通しである。



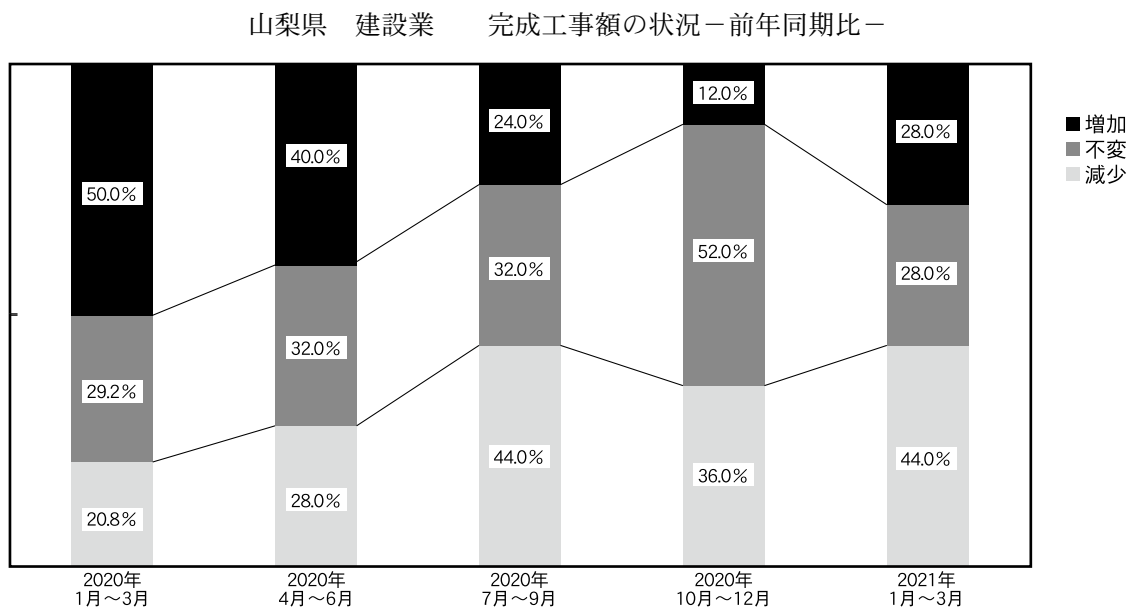
#### (2) 主な項目で見る業況

##### ① 完成工事額（完成工事額D Iの内容（回答企業数25社））

「増加」と答えた企業の割合は、28.0%（7社）と増加（前期比+4社）している。

「不変」は28.0%（7社）と減少（前期比▲6社）、

「減少」は44.0%（11社）と増加（前期比+2社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数25社））

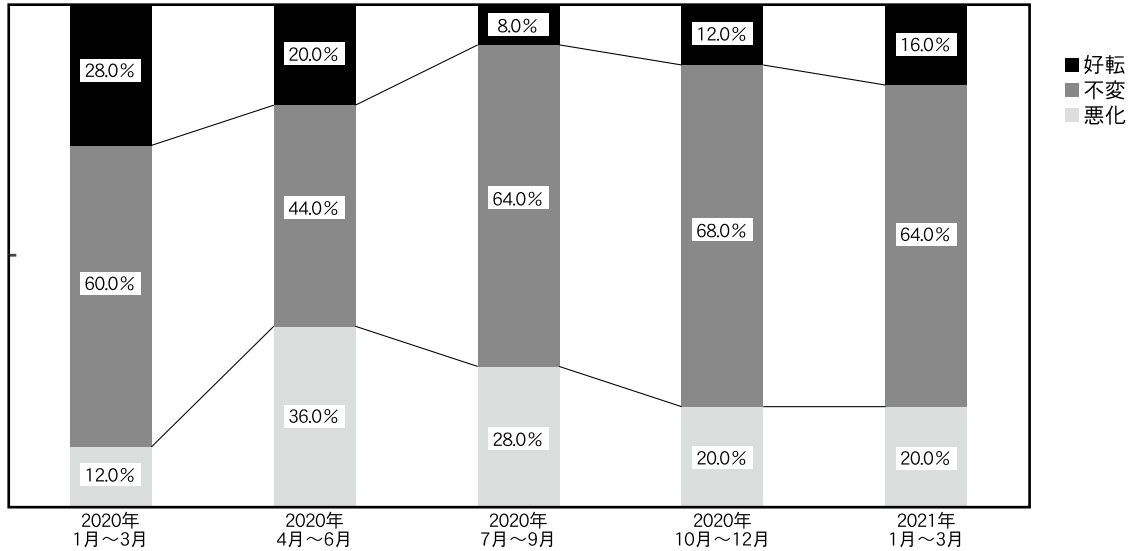
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、16.0%（4社）と増加（前期比+1社）している。

「不変」は64.0%（16社）と減少（前期比▲1社）、

「悪化」は20.0%（5社）と前回と同数である。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

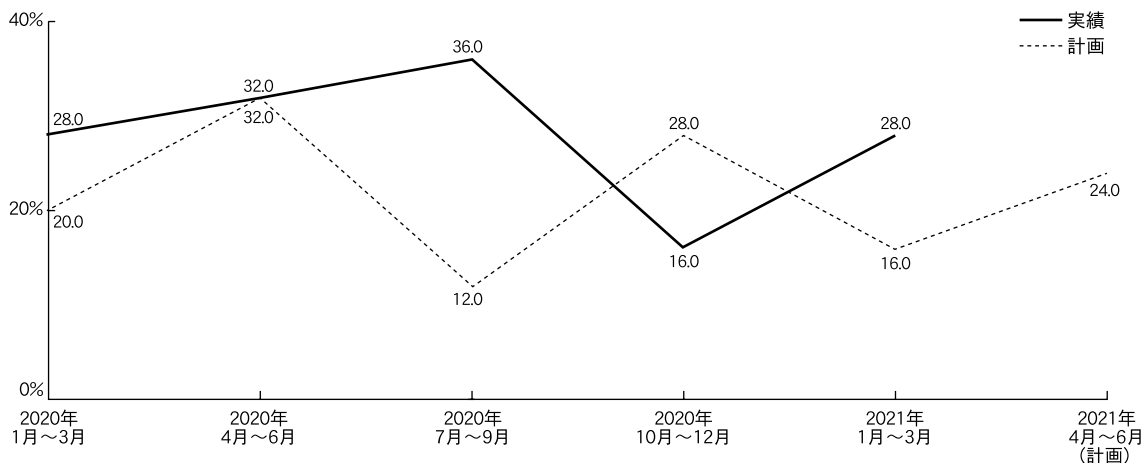


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は28.0%（7社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が3件、「建設機械」「OA機器」が2件ずつ、「建物」「付帯施設」が1件ずつであった。

来期の計画については、24.0%（6社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」「OA機器」が4件ずつ、「土地」「付帯施設」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数23社）

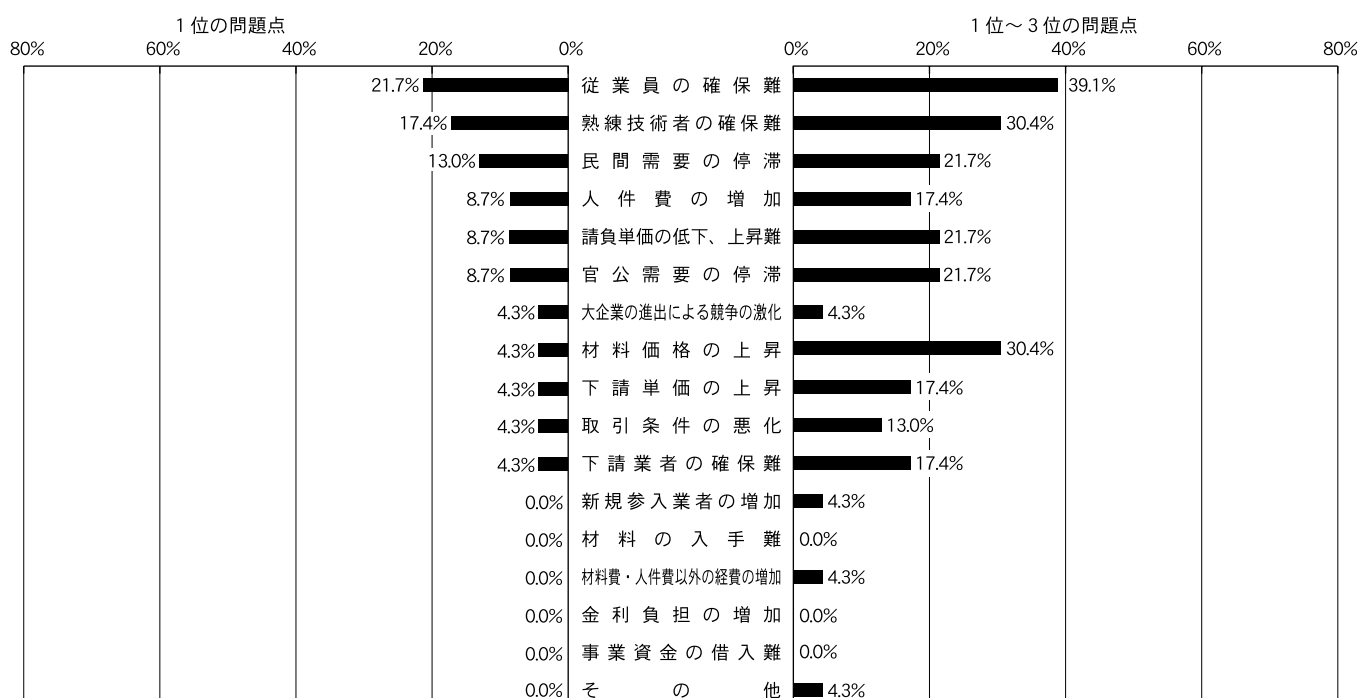
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「従業員の確保難」の21.7%（5社）であり、「熟練技術者の確保難」の17.4%（4社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「従業員の確保難」の39.1%（9社）であり、2番目に多かったのは、「材料価格の上昇」と「熟練技術者の確保難」との30.4%（7社）である。

山梨県 建設業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	17	68.0
職別工事業	4	16.0
設備工事業	4	16.0
合計	25	100.0

従業員規模別

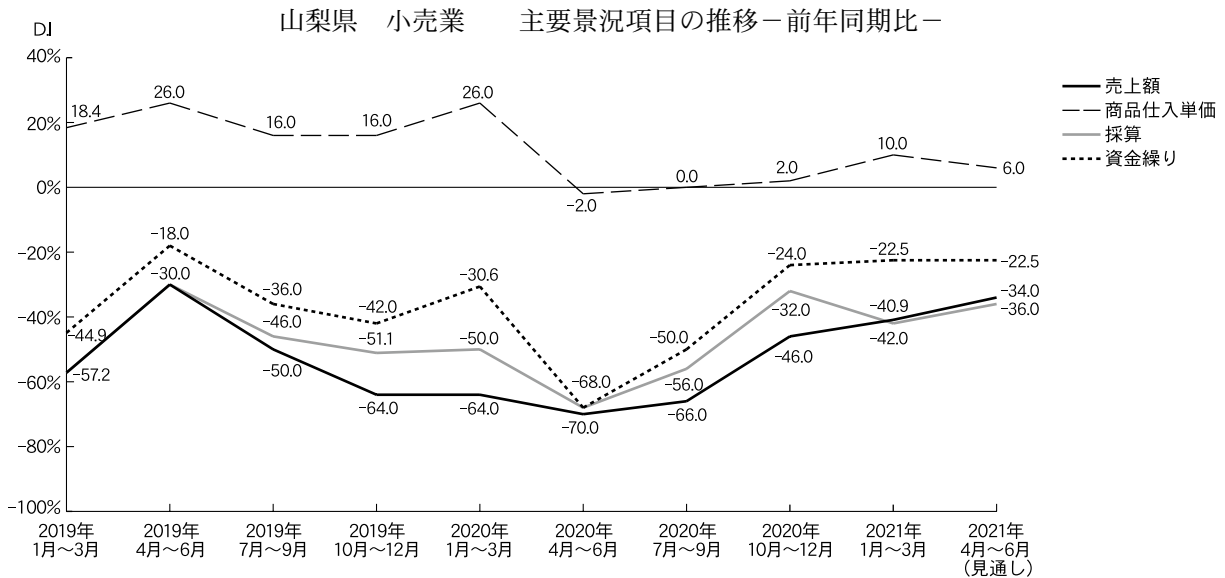
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い		企業数(社)	構成比(%)
2人以下	10	40.0	8	32.0
3人～5人以下	5	20.0	7	28.0
6人～10人以下	4	16.0	4	16.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
21人～50人以下	1	4.0	1	4.0
合計	25	100.0	25	100.0

## 4. 小売業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲40.9と前期比5.1ポイント改善しており、来期も▲34.0に改善する見通しである。商品仕入単価D Iは、今期は10.0と前期比で8.0ポイント上昇（悪化）しているが、来期は▲6.0に下降（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲42.0と前期比で10.0ポイント悪化しているが、来期は▲36.0と改善の見通し。資金繰りD Iは、今期は▲22.5と前期比で1.5ポイント僅かに改善しているが、来期は横ばいの見通しである。

今期は、売上額D I、資金繰りD Iが若干改善し、商品仕入単価D I、採算D Iが悪化している。来期は、横ばいの資金繰りD Iを除いた全てのD Iが改善の見通しである。



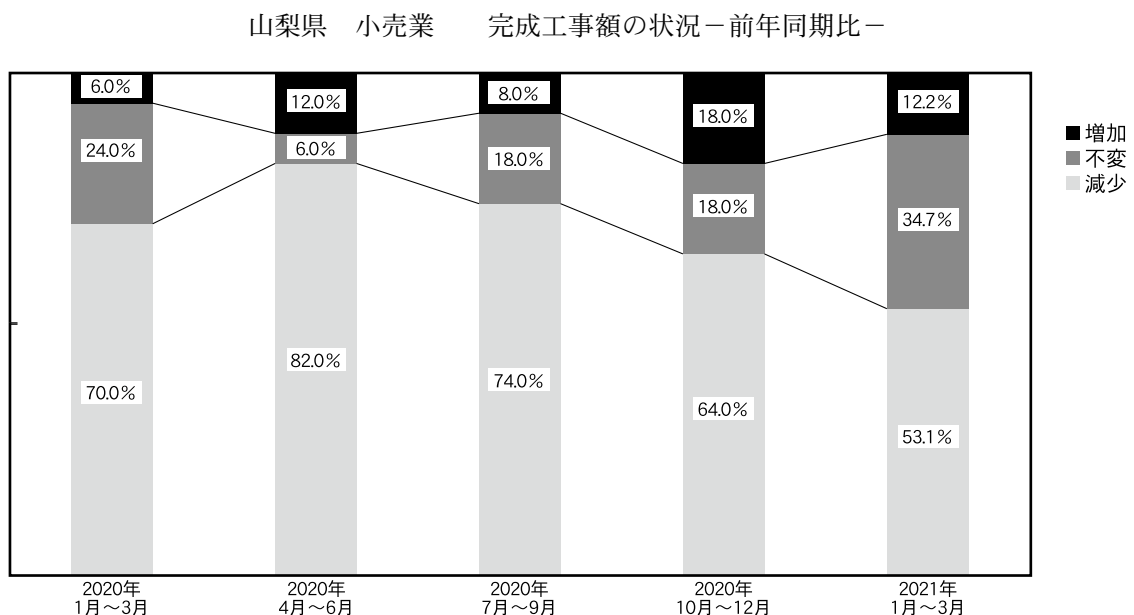
### (2) 主な項目でみる業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数49社（前回50社）））

「増加」と答えた企業の割合は、12.2%（6社）と減少（前期比▲3社）している。

「不変」は34.7%（17社）と増加（前期比+8社）、

「減少」は53.1%（26社）と減少（前期比▲6社）している。



② 採算（採算D Iの内容（回答企業数50社））

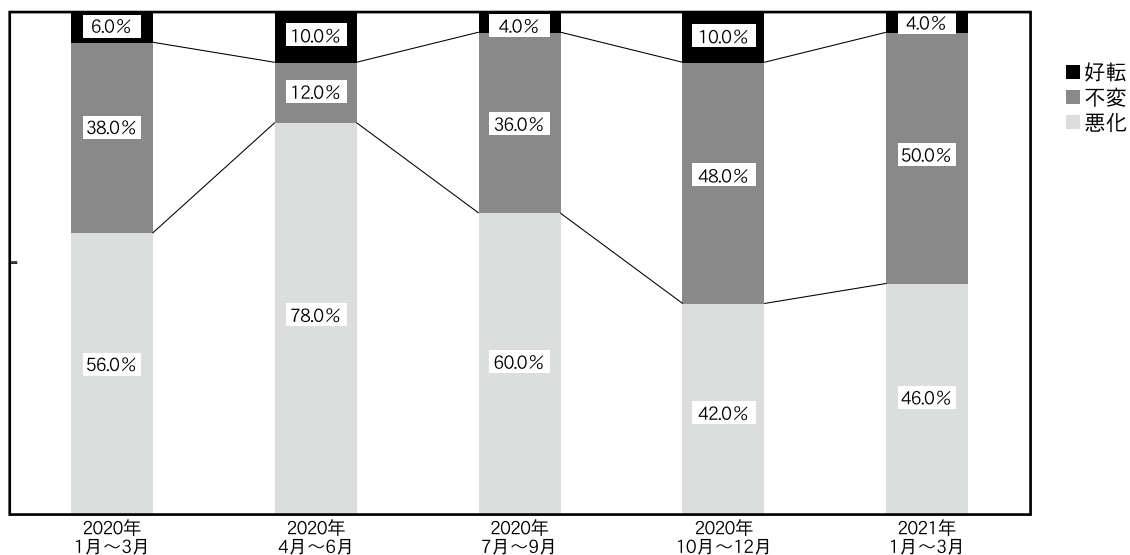
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、4.0%（2社）と減少（前期比▲3社）している。

「不変」は50.0%（25社）と増加（前期比+1社）、

「悪化」は46.0%（23社）と増加（前期比+2社）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

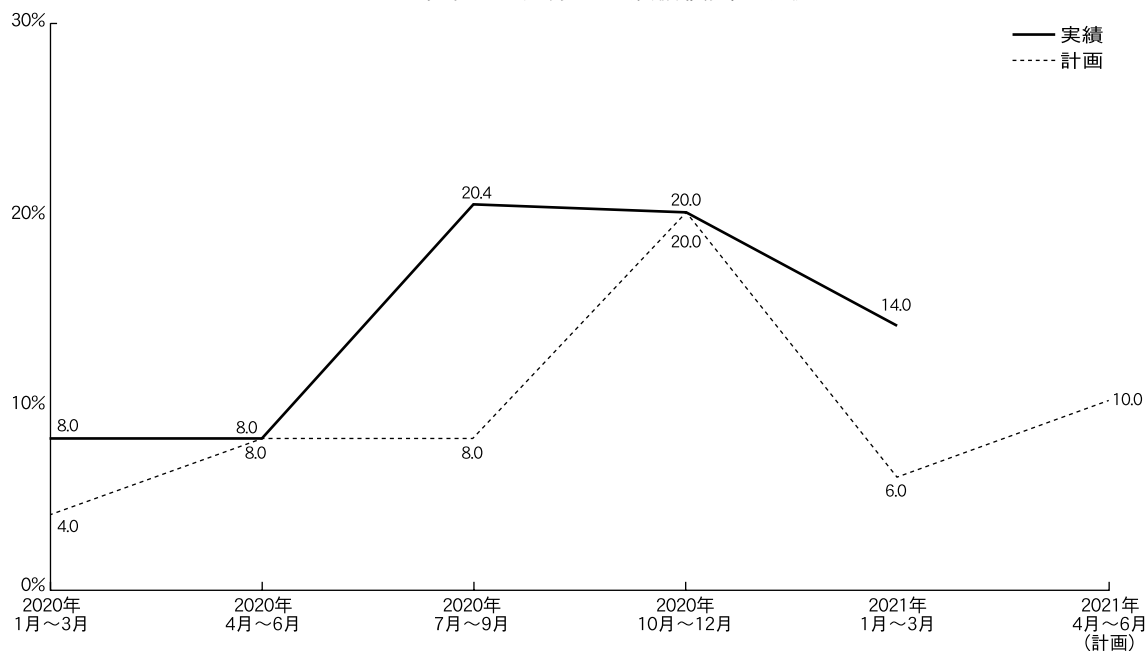


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数50社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は14.0%（7社）であった。その設備投資の内容は、「OA機器」が3件、「店舗」「販売設備」「車両・運搬具」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、10.0%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が3件、「店舗」「付帯施設」「OA機器」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数49社）

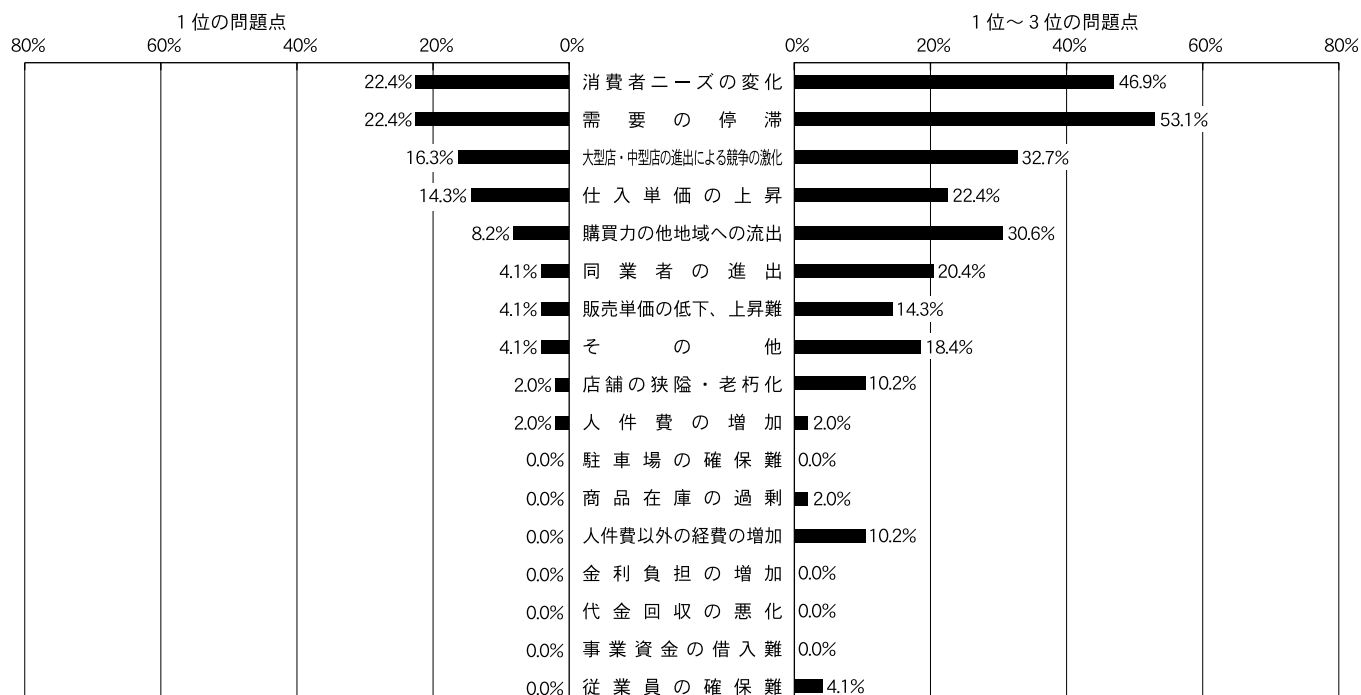
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは「消費者ニーズの変化」と「需要の停滞」との22.4%（11社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の53.1%（26社）であり、2番目は「消費者ニーズの変化」の46.9%（23社）である。

山梨県 小売業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
各種商品小売業	0	0.0
織物・衣服・身の回り品小売業	9	18.0
飲食物品小売業	17	34.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	18	36.0
合計	50	100.0

従業員規模別

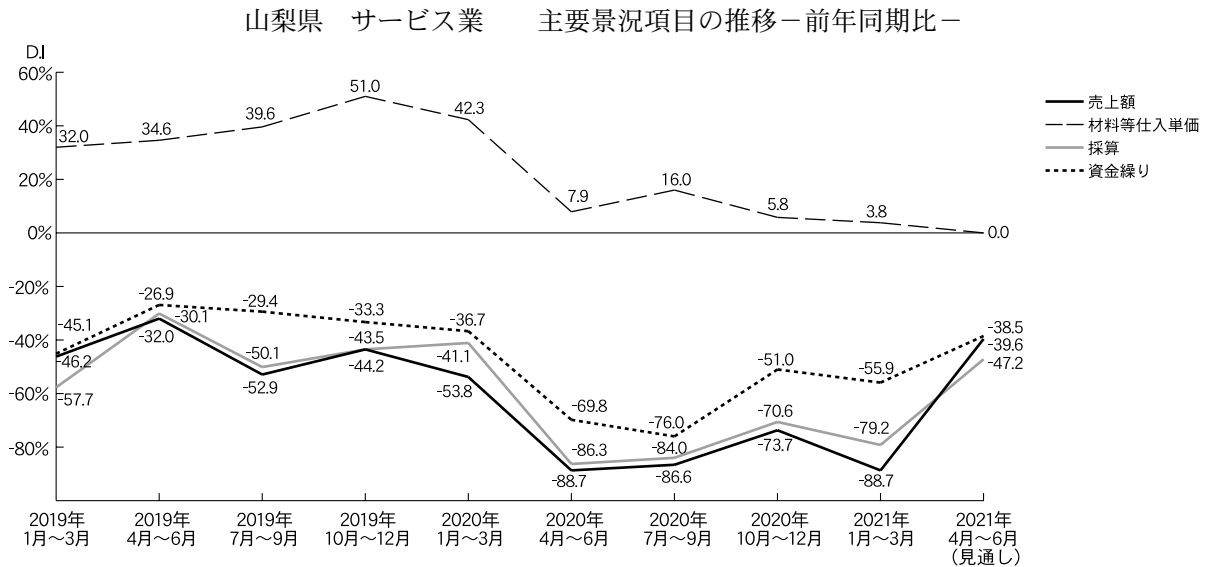
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	47	94.0	40	80.0
3人～5人以下	3	6.0	10	20.0
6人～10人以下	0	0.0	0	0.0
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	50	100.0	50	100.0

## 5. サービス業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲88.7と前期比で15.0ポイント悪化したが、来期は▲39.6に大幅改善の見通しである。材料等仕入単価D Iは、今期は3.8と前期比で▲2.0ポイント僅かに下降（改善）し、来期も0.0に僅かな下降（改善）の見通しである。採算D Iは、今期は▲79.2と前期比で8.6ポイント悪化したが、来期は▲47.2に大きく改善の見通しである。資金繰りD Iも、今期▲55.9と前期比で4.9ポイント悪化したが、来期は▲38.5と改善の見通しである。

今期は全てのD Iが改善し、来期は全てのD Iが若干程度ではあるが悪化の見通しである。



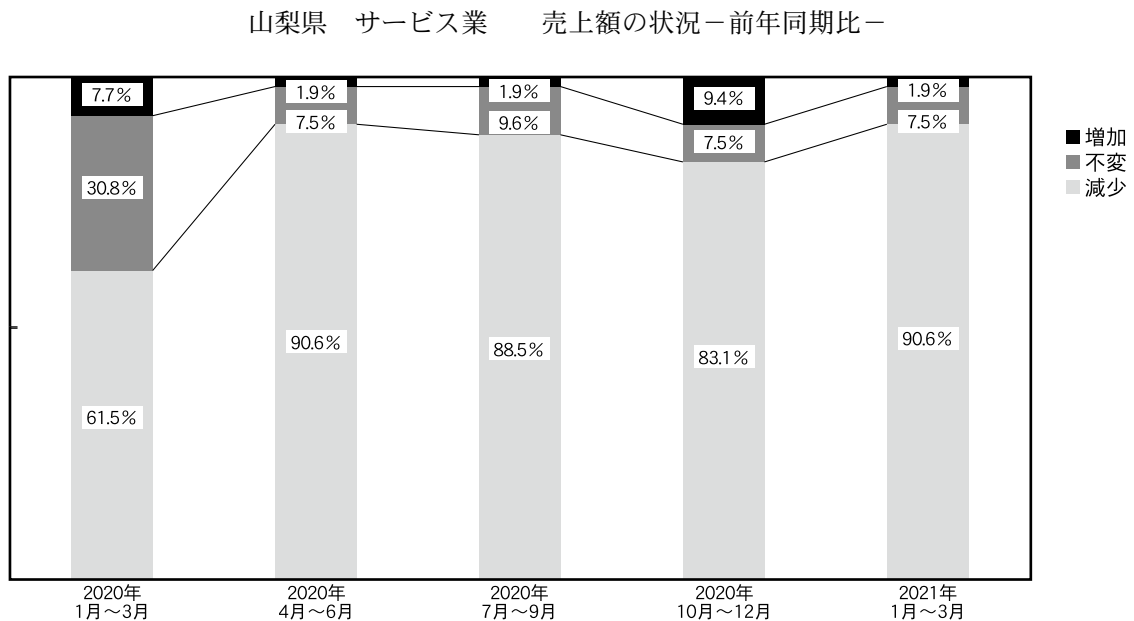
### (2) 主な項目でみる業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数53社））

「増加」と答えた企業の割合は、1.9%（1社）と減少（前期比▲4社）している。

「不変」は7.5%（4社）と前回と同数、

「減少」は90.6%（48社）と増加（前期比+4社）している。





② 採算（採算D Iの内容（回答企業数53社（前回51社））

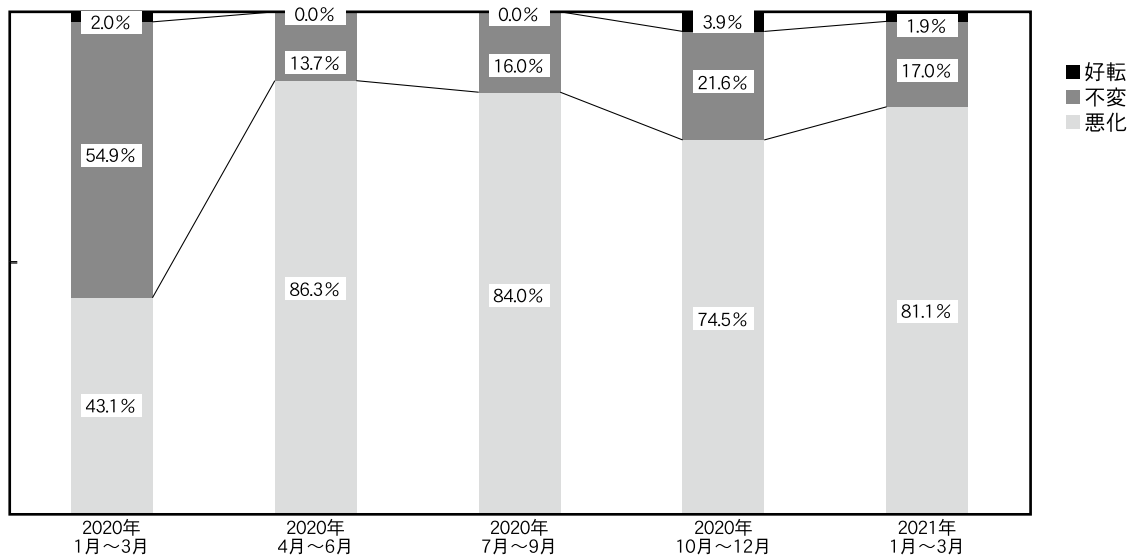
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、1.9%（1社）と減少（前期比▲1社）している。

「不変」は17.0%（9社）と減少（前期比▲2社）、

「悪化」は81.1%（43社）と増加（前期比+5社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

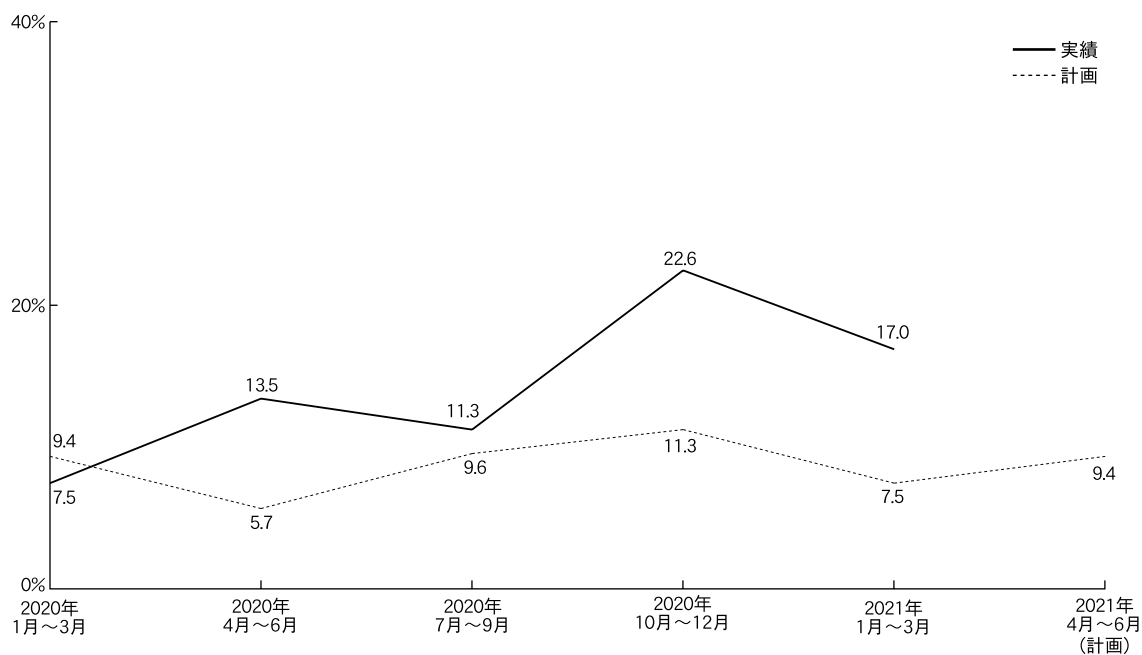


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数53社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は17.0%（9社）であった。その設備投資の内容は、「サービス」が5件、「付帯施設」が3件、「建物」「車両・運搬具」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については、9.4%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が3件、「サービス」「OA機器」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数47社）

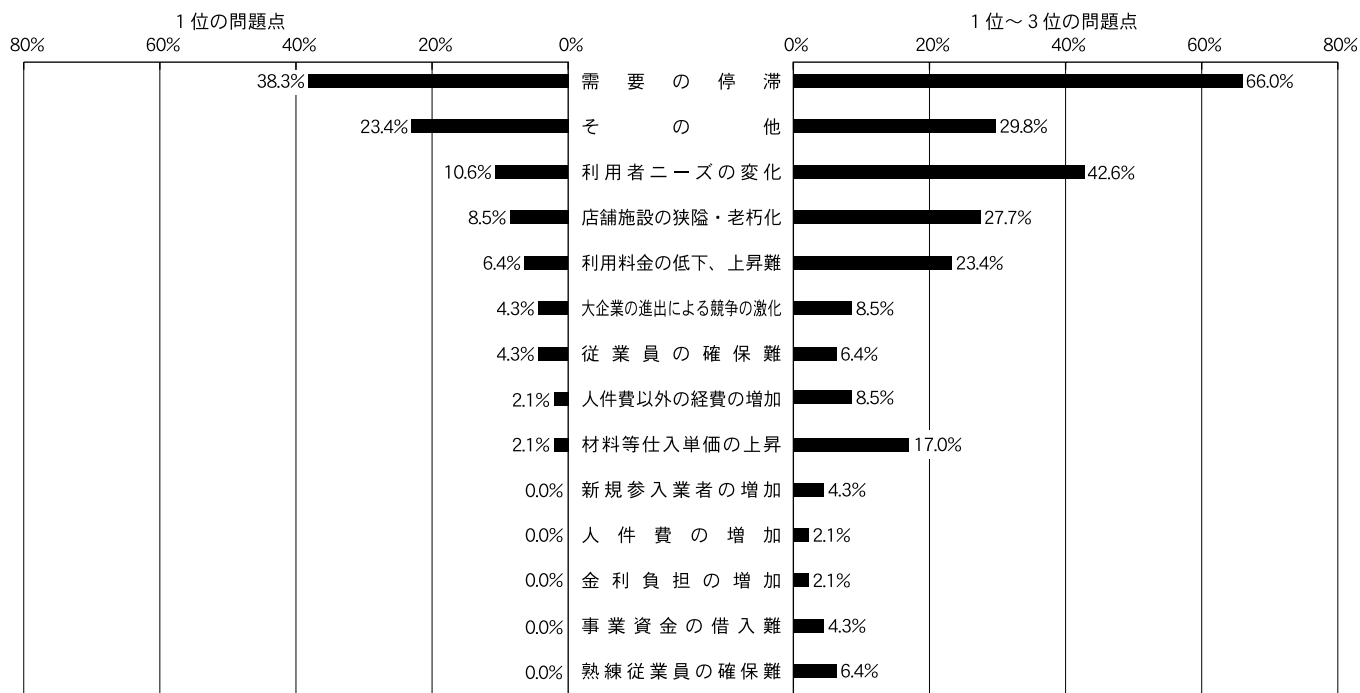
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の38.3%（18社）であり、2番目は、「利用者ニーズの変化」の10.6%（5社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の66.0%（31社）であり、2番目に多かったのは、「利用者ニーズの変化」の42.6%（20社）である。

山梨県 サービス業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	19	35.8
宿泊業	7	13.2
運送業	2	3.8
自動車整備業	4	7.5
洗濯・理美容業	18	34.0
その他のサービス業	3	5.7
合計	53	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い			
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	45	84.9	40	75.5
3人～5人以下	8	15.1	12	22.6
6人～10人以下	0	0.0	1	1.9
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	53	100.0	53	100.0